［日光市］

個性豊かな県内各市町をご紹介するこのページ。
今回は、数々の歴史遺産や景勝地をそなえ、
日本を代表する観光都市となった日光市をご紹介します。

～世界遺産「日光の社寺」以外にも数々の景勝地で知られる世界的な観光都市～

平成 18 年 3 月の合併で誕生した現在の日光市は、栃木県の総面積の 22％を占める県内最大の市。全国的に見ても、岐阜県高山市、静岡県浜松市に次いで第 3 位の面積を誇ります。その広大な市域には世界遺産「日光の社寺」をはじめとする数々の歴史遺産や美しい自然が存在し、国内外から毎年多くの人が日光を訪れます。平成 28 年の市の観光客入込数は 1,139 万人と震災前の水準にまで回復し、同宿泊数・外国人宿泊数は県内一となっています。

市の強みは、日光山内だけでなく市の全域に、古くから人を集めてきた観光名所が点在している点でしょう。鬼怒川温泉や川治温泉、湯西川温泉などの名湯や、日光江戸村、日光さる軍団などのアトラクション施設、霧降高原や龍王峡などの景勝地など、バラエティ豊かなスポットがあります。

また、2017 年 8 月からは東武鬼怒川線で SL「大樹」の運行が始まり、人気を博しています。

東武鬼怒川線では 2017 年 8 月から SL「大樹」が運行を開始しました

「名湯の街・日光」～市内各所に豊かな温泉が湧出しています

日光と聞いてまず思い浮かぶのは世界遺産「日光の社寺」。しかし那須火山帯の一部に位置する日光市は、全国有数の温泉保養地でもあります。

市内には、平家の落人集落の歴史が残る旧栗山村の温泉や、日光を開いた勝道上人が発見したと伝えられる日光湯元温泉、そして 17 世紀末から 18 世紀初頭に相次いで発見されて参拝客の疲れを癒した鬼怒川温泉・川治温泉など、広い市域のほぼ全域にわたって豊富な湧出量を誇る名湯に事欠きません。

●足尾温泉「庚申の湯」

銅山の街・足尾の温泉で、国民宿舎かじか荘などの温泉施設があります。入ると肌がすべすべになることから、「美人の湯」の別名も。
【効能】アルカリ性単純泉／神経痛・関節痛など

市内の足湯も人気！

最近、観光の帰りなどに手軽に入れて人気なのが、足湯です。日光市内にも多数の足湯があり、散策や参拝で疲れた足を癒すのに好評を博しています。

▲鬼怒太の湯

▲鬼怒子の湯

▲川治ふれあい公園「むすびの湯」「かわじいの湯」　▲湯西川水の郷　足湯

●温泉保養センター「やしおの湯」

高齢の方にも向く刺激の弱い温泉は入り心地がよく、手術後・外傷後の療養によいといわれます。
【効能】アルカリ性低張性低温泉／神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺に

●温泉保養センター「かたくりの湯」

内湯と露天風呂、サウナを併設するなど、施設の充実した日帰り入浴施設。
【効能】アルカリ性単純泉／神経痛・筋肉痛・関節痛・打ち身・冷え性に

●鬼怒川公園岩風呂

鬼怒川公園駅からほど近い、公共の日帰り入浴施設。庭園風の露天風呂は、鶏頂連山の大パノラマが人気です。
【効能】アルカリ性単純泉／神経痛・打ち身・冷え性・疲労回復に

●上栗山温泉共同浴場「開運の湯」

ログハウス調の建物と風情のある木の浴槽が特徴の日帰り入浴施設。茶褐色のにごり湯は源泉かけ流しで、地元の方も多く利用しています。
【効能】ナトリウム－塩化物・硫酸塩・炭酸水素塩温泉／神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・打ち身など

●湯西川水の郷

肌にスベスベ感の残る美肌の湯。刺激は弱めで高齢の方も安心して入浴できます。
【効能】アルカリ性単純泉／神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・打ち身など

●湯の郷湯西川観光センター

道の駅でありながら湯西川温泉駅に直結した施設で、マイカーの来訪者のほか鉄道利用客も利用できます。足湯、岩盤浴等の設備も完備。
【効能】アルカリ性単純泉／神経痛、リウマチ、筋肉痛、冷え性、関節痛など

▲岩盤浴

News

日光の夜を彩る ライトアップイベント

各地で開催されるライトアップは、街を彩る光のアートとして人気。日光では、冬の期間も各開催地の個性を引き立てるイベントが開催されます。

全日本氷彫刻奥日光大会
【開催期間】1月 31 日より
【会場】日光湯元温泉湖畔ひろば

わたらせ渓谷鐵道各駅 イルミネーション

【開催期間】
12月3日～2月28日
【会場】わたらせ渓谷鐵道の各駅

雪灯里（ゆきあかり）
【開催期間】2月9日～ 15 日
【会場】湯元園地

イルミネーション in 東武ワールドスクウェア

【開催期間】11月3日～4月1日
※3月3日以降は土・日・祝日のみ
【会場】東武ワールドスクウェア（有料）

湯西川温泉かまくら祭 2018
【開催期間】1月 27 日～3月4日
【会場】平家の里（有料）・沢口河川敷ミニかまくら会場

profile

●日光市

県北西部の日光市。一帯は古くから社寺の鳥居前町・門前町として栄え、16 世紀から開発が進んだ足尾銅山は明治以降の日本の近代化の基礎となりました。現在の市域は平成 18 年 3 月の旧今市市・旧日光市・旧藤原町・旧足尾町・旧栗山村の 2 市 2 町 1 村の合併により誕生。西に標高 2,000 メートル超の山間部が、東に鬼怒川・大谷川の清流が流れる平坦な市街地が位置する地勢で、白根山や戦場ヶ原、中禅寺湖などの美しい自然で知られる日光国立公園は、大部分が市内に属します。

▶面　積：1,449.83 平方 km
▶人　口：83,868 人（36,463 世帯）
〔平成 29 年 12 月 1 日現在〕